

2022  
12.19 月4回  
月曜日発行  
第1274号

# 週刊ビル経営

発行所 株式会社ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03(3543)7421  
FAX 03(3543)5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取  
り組む。

### 第55回「アートと倉庫」

アートと倉庫は相性が良く、倉庫で美術品を保管したい、アトリエとして使いたい、ギャラリーにしたい、といったアートに関連する倉庫探しをお手伝いすることがよくあります。また私自身アトリエにされるのが好きで、元倉庫を改修したアトリエスペースも数多く訪れてきました。「TERRADA ART COMPLEX」や「ART FACTORY城南島」、今はなき「TORARIES」鎖でつなげた本と本棚と太陽」に、青い外壁にアンモナイトの絵が目をつけた「鈴江コーポレーション竹芝第3倉庫」。どれもアートと倉庫の親和性の高さを象徴する事例です。倉庫の大空間は、いわば大きくて真っ白なキャンバス。創造性をかきたてる力があるのでしよう。

母が珍しいものがあるのと連れて行ってくれたインダストリアルな空間と、自分の背丈より大きなアトリエに圧倒された衝撃を覚えていました。リノベーションという言葉も知らなかった頃ですが、現在につながる伏線のような原体験といつていいかもしれません。

現在、私たちが管理する東京・湾岸の倉庫ビル「五色橋ビル」では、期間限定の展示会が開催されています。「LIB島」、今はなき「TORARIES」鎖でつなげた本と本棚と太陽」と題し、ビルのフロアをまるごと使ったインスタレーションが展開されています。

リソーコ(Rees OHKO.inc)が主催のこの展示会。企画・会場構成は建築家の松井亮氏、本のセレクトはブックディレクターの幅允孝氏、アートディレクションは木住野彰悟氏によるものです。

約400坪のフロアには、彫刻的な10種類の本棚が配置されています。それぞれの本棚にはテーマがあり、テーマに紐づく本が納められています。この本棚と本の出会いが示唆的で、知的好奇心がくすぐられてとても面白いのです。本棚を白く眺めるというより現代アートに触れているような、五感をフルに研ぎ澄ませて感じ取る感覚は、病みつきになりそうです。これは実際に体験してみないと、十分にその魅力をお伝えできないかもしれません。

しつみいください。